【世界史探究】

～ClassPad.net のファイルふせん・手描き機能を活用する～

東西の文化的交流とその社会的背景を理解する授業

「ヘレニズム文明の東伝」を中心に「当時の東西の交流」の内容を確認する。

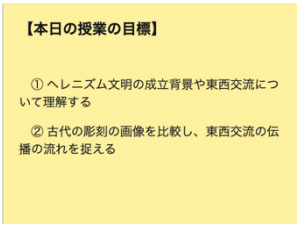
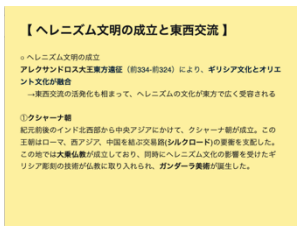
【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：東西交流の歴史に関する学習を通じて、当時のアジア大陸や日本での出来事を結びつけ、体系的に理解する。

生徒向けの目標：ヘレニズム文明の東伝を、地図や実際の彫刻を通して視覚的に理解し、かつアジア各地での出来事を東西交流の背景から理解する。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- **生徒の理解促進**　：重要語句や内容の閲覧が容易で、思考力を養う時間をより多く確保することができる。
- **個別最適学習の促進**　：各生徒の端末上で、誌面よりも詳しく彫刻や史料などを確認、考察できる機会が提供されることで、その後の個別学習への応用が期待される。
- **作業内容の即時共有**　：指定された地図に直接書き込んだ内容を、すぐに全体に共有することで、授業進行の効率性が向上。

		授業の流れ	ClassPad.net での操作
step1		**概要の説明** 教科書や資料集にある、ヘレニズム文明の成立背景や東西交流に関する出来事を紹介し、これらのつながりを理解するという授業の目標を伝える。	
step2		**基礎的な事項の確認** 「ヘレニズム文明の成立」や「クシャーナ朝、仏教の東伝」、「後漢の西域政策」「遣唐使、正倉院宝物」など教科書の太字重要語句を中心に、文明の伝播の流れを確認できる形で、用語の内容や意味を確認する。	リンクふせんやファイルふせん、教科書や資料集などを活用し、step5 で提示する画像以外の画像を提示する。 また、EX-word ふせんを使用して、用語の解説もあわせて行う。 ※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step3



地図の提示

西はローマ帝国、東は日本までが記載された地図を提示、生徒全員に共有する。

地図は事前にファイルふせんにしておき、授業支援機能を利用して生徒に送信する。

step4

【課題】
〈課題内容〉 地図中に示されたローマ帝国、クシャーナ朝、後漢、日本といった文化の伝播ルートをペンでたどっていき、シルクロードのおおよそのルートを確認する。

グループワーク①

複数のグループを作らせ、教師は各グループに課題内容を提示し、まずはグループ員各自で、次にグループ全員で比較・確認する。
〈課題内容〉
　地図中に示されたローマ帝国、クシャーナ朝、後漢、日本といった文化の伝播ルートをペンでたどっていき、シルクロードのおおよそのルートを確認する。

課題が書かれたテキストふせんや、step2 で提示された画像や出来事の時期を記載したテキストふせんを電子黒板やプロジェクター等で投影し、全体に提示する。この際、ヒントを与えすぎないように注意する。
生徒には、手描き機能を利用して、step3 で共有されたファイルふせんに課題の答えだと考えるルートを書き込ませる。

step5



写真の提示

ヘレニズム文明における彫刻、ガンダーラ美術の彫刻、竜門石窟菩薩像、天平文化における彫刻の写真を提示する。これらの共通点や相違点をグループ全員で議論する。

リンクふせんやファイルふせん、教科書や資料集などを活用し画像を提示する。
また、EX-word ふせんを使用して、画像に関する用語の解説もあわせて行う。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step6

〈課題〉
ヘレニズム文明における彫刻、ガンダーラ美術の彫刻、竜門石窟菩薩像、天平文化における彫刻の写真(薬師三尊像)の共通点や相違点をグループ全員で議論する。
〈条件〉
教科書やインターネットを参照せず、画像を見て自ら判断する。

グループワーク②

step5 で提示されたそれぞれの彫刻の共通点と相違点をグループ全員で議論する。
〈条件〉
教科書やインターネットを参照せず、生徒が写真を見て自ら判断する。

グループ内で「テキストふせん」に共通点と相違点をまとめる。また，「ファイルふせん」などを活用して画像を表示してもよい。最後にまとめた内容全体を教員に提出する。

step7

4つの像に共通しているのは…

○**写実的で深いひだ**が刻まれた衣服を身につけている（このようなひだは、ドレープと呼ばれる）こと

○神や仏を**人間らしい姿**で表現していること

○直立不動ではなく、片足に重心をかけたり、腰をひねったりする自然な立ち姿や、肉体の量感（ボリューム）を意識した造形

⬇

ヘレニズム文化の彫刻の特徴は、**感情や運動の表現に優れている**点や、彫刻が**躍動的、写実的**であることが挙げられ

答え合わせ

顔つきや服のひだに特徴のあるヘレニズム文明が東伝していることと、この特徴が東洋風に変化していっていることなどを学習させる。

課題で提示した画像と課題の提出状況一覧画面を電子黒板やプロジェクター等で投影しながら彫刻の特徴的を画像解説するなどし、のちにクラス全体で講評を行う。

step8

【まとめ】
起源（ギリシア・オリエント）
アレクサンドロス大王の遠征→ヘレニズム文化の発生
⬇
融合（中央アジア・インド）
クシャーナ朝の繁栄
ギリシア彫刻＋仏教→**ガンダーラ美術**（仏像の誕生）
⬇
伝播（中国・西域）
後漢の班超による**西域政策**→シルクロードの安定
仏教の東伝（大乗仏教と美術が中国へ流入）
⬇
到達（日本）
遣唐使による文化輸入
天平文化・**正倉院宝物**（ヘレニズム・ペルシアの影響が日本へ）

まとめ・宿題

東西交流の活発化を象徴する出来事や文化の伝播に関して、重要語句を中心に簡単な振り返りを行う。
最後に「各グループごとにヘレニズム文化に影響を受けた彫刻や装飾品について調べてくる」という宿題を出す。

宿題は、内容が記載されたフォーマットを Word 等を利用して作成しておき、ファイルふせんにして、授業支援機能を用いて生徒に送信する。

step9

【参考・補足】
○ヘレニズム期以前のギリシャ彫刻の変遷を確認する。アルカイック期→クラシック期→ヘレニズム期にかけてどの ように彫刻が変化していったのかを、 実際の画像等を見て観察する 。

○ルネサンス期との比較を行っても良い。

参考・補足

ヘレニズム期以前のギリシャ彫刻の変遷を確認する。アルカイック期→クラシック期→ヘレニズム期にかけてどのように彫刻が変化していったのかを、実際の画像等を見て観察させる。また、ルネサンス期との比較を行っても良い。

ギリシャ彫刻の変遷を画像とともに詳細に説明しているページ(https://acryliccrash.com/ancient_greece)や、ヘレニズム期から現代までの彫刻の変遷を簡潔に示しているページ(https://sdart.jp/archives/3739)で彫刻文化の歴史を概観できる。